

教科目名 保健·体育 (Health & Physical Education)

学科名・学年 : 金学科 2年

単位数など：必履修 2 単位（前期 1 コマ、後期 1 コマ、学習保証時間 45 時間）

担当教員：大庭恵一、川内谷一志、後藤征士（全クラス担当）

授業の概要		スポーツテスト（運動能力テスト・体力診断テスト）を実施して、個人の体力を把握させる。 スポーツテストに含まれる運動技能を個人技能（陸上競技、水泳）、対人的技能（ソフトテニス、卓球、柔道）、集団的技能（バレー、サッカー、バスケットボール）の各種目を、全体技能（ゲーム）が遂行可能となるように行う。 保健学習では、「現代社会と健康」「交通事故およびその予防策」「社会生活と健康」に重点をおいて学習する。	
達成目標と評価方法		大分高専目標 (A1) (B1), JABEE 目標(a) (c)	
(1) 基礎体力の維持・向上を目標とする。（ゲームと記録） (2) 体育実技で行った運動種目のルールを正確に理解し、ゲームを楽しむことができるようになる。（ゲーム） (3) 保健学習で行った内容を正確に理解する。（定期試験）			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1-4	1. バレー	個人技能の習得。男女混合チームもあり、班編成に留意する。審判法の確認。	【理解の度合い】
5, 6	2. スポーツテスト	{運動能力テスト（4種目）、体力診断テスト（4種目）}を正確に測定する。	
7-10	3-1. ソフトボール（男子） 3-2. ソフトテニス（女子）	ゲームによる技能の向上と審判法の習得。 ストローク、サーブなどの個人技能の習得。	
11, 12	4. 水泳	遠泳に重点を置いたクロール、平泳ぎの習得。	
13, 14	5. 保健	「現代社会と健康」について学習する。	
15	前期期末試験	筆記による保健のテストを行う。	【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説	保健テストの解答と解説を行う。	
16, 17	6. 陸上競技	ハーダルの基本技能を習得し、80mハーダルのタイムを測定する。女子はハーダルを低くして指導する。	【理解の度合い】
18-21	7-1. サッカー（男子） 7-2. ソフトテニス（女子）	個人技能の習得後、ゲームによるルール・審判法の習得。 前期の個人の技能をさらに向上させ、ダブルスのゲームを学習する。	
22-25	8. バスケットボール	個人技能の習得。ゲームによるルール・審判法の習得。	
26, 27	9. 柔道	個人技能の習得。約束練習や簡易試合を行い、ルール・審判法の習得。	
28, 29	10. 保健	「交通事故およびその予防策」「集団の健康」について学習する。	
30	後期期末試験	筆記による保健のテストを行う。	【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説	保健のテストの解答と解説を行う。	
履修上の注意	授業は時間厳守とする。		
教科書	高石昌弘、小沢治夫ほか、「現代保健体育」、大修館。		
参考図書	豊田博、丸山吉五郎ほか、「最新スポーツルール」、大修館。 和唐正勝監修、「図説現代保健」、大修館。		
関連科目	保健・体育（1年、3年）		
総合評価	達成目標の(1)から(3)について実技と試験で評価する。 総合評価 = $0.8 \times$ (授業で行った各種目の実技点の平均) + $0.2 \times$ (保健テスト点) *総合評価は、前期評価と後期評価を平均して評価する。 *授業態度により、評価点からその20%を上限として減点を行う。 総合評価 60点以上を合格とする。		